

**製品名: FTO ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21456**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:3000-1:20000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:58kD;Observed MW:58kD

**抗原情報**

遺伝子名	FTO
別名	FTO;KIAA1752;Alpha-ketoglutarate-dependent dioxygenase FTO;Fat mass and obesity-associated protein
遺伝子 ID	79068.0
SwissProt ID	Q9C0B1
免疫原	ヒト FTO の合成ペプチド

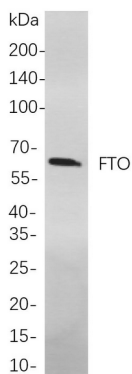
**背景**

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、AlkB 関連非ヘム鉄および 2-オキシグルタル酸依存性酸素化酵素スーパーファミリーに属する核タンパク質ですが、正確な生理学的機能は不明です。他の非ヘム鉄酵素は、酸化脱メチル化によってアルキル化 DNA および RNA の損傷を回復させる働きがあります。マウスおよびヒトを用いた研究では、神経系および心血管系における役割、ならびに BMI、肥満リスク、および 2 型糖尿病との強い関連が示唆されています。[RefSeq 提供、2011 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



FTO ウサギ mAb を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。